

北海道電力(株)泊発電所3号機に関する道の考え方

平成23年8月17日

道としては、国から頂いた回答については、理解できるものと判断したところであり、従って、国において、最終検査の手続きを行われることについて異議はない。

私としては、原子力発電所に関しては、何よりも安全を優先し、道民の不安の解消に努めながら対応をすべきものと考えており、国においては、今回の福島事故を踏まえ、今後、責任を持って安全対策に万全を期すとともに、原発立地地域との信頼関係を損なうことのないよう、誠実かつ丁寧な対応を強く求める。

特に、定期検査中の原子力発電所に係る再稼働については、より慎重な判断を要すると考えられることから、一層の安全性の向上と、より丁寧な対応を求める。

また、今後とも、道民の安全・安心を図る観点から必要な要請を行う際は、誠実な対応を求める。

北海道知事 高橋 はるみ